

学校番号	学 校 名
56	益田清風高等学校

学校教育目標	【教育目標】理想を掲げ、主体的に考え行動できる、心豊かでたくましい精神をもった人間の育成を図る。 【めざす学校像】地域に学び、地域と育ち、地域に貢献する学校 1.進路実現に向けて、よく勉強する学校 2.部活動や学校行事に真剣に取り組む学校 3.端正な身なりで、明るい挨拶のできる学校	
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 教科指導の重点 (1) 教科の特徴を生かし、学習意欲を喚起し深い学びを得る授業の推進 (2) 学科の特性に応じた生徒の将来につながる授業の推進 (3) 授業規律・学習環境を大切にするとともに、見通しをもった授業を推進	① 「育みたい資質・能力を引き出せる観点別評価の研究」、「よりよい教育実践のためのICT（情報通信技術）の有効活用」を本年度の学習指導における校内研修の全校統一テーマに設定し、学習指導内容の精選及び生徒の学習意欲の向上に努めます。 ② ①の推進のために、教員間の研修を重ね、授業の改善に取り組みます。 ③ 「目標を明確にした授業」「生徒が主体的に取り組む授業」「言語活動の活発な授業」を継続して実践し、その取り組みを高める支援を推進します。	① 教員の丁寧な指導により生徒の学習意欲が向上し定期考査ごとの成績不振生徒数が減少する。 ② 県によるICTの有効活用の実践に関するアンケートで、県平均を上回る。 ③ 生徒による授業評価を実施し、授業への満足度が平均80%以上となる。
2 生徒指導の重点 (1) 学校規律、授業規律の確立 (2) 自他の人権や生命を尊重する意識の確立 (3) 問題行動等（いじめを含む）の未然防止と事後指導の充実	① 登下校指導、身だしなみ指導、時間厳守、忘れ物、授業態度などの生活指導において、職員間意思疎通を図り、生徒に指導します。 ② いじめ調査や生徒観察により、職員の共通理解を図り、情報共有することにより、いじめの未然防止に努めます。また、情報モラル教育を充実させ、情報モラル（SNSの正しい使用等）意識を高めます。 ③ 問題行動の未然防止に努め、生徒への指導を行います。また、関係職員と外部専門家等との連携を密にし、早期発見・早期対応・解決に努め、事後指導まで粘り強く行います。	① 規範意識をもち落ち着いた学校生活を送れている。また、正しい服装の着こなしができています。 ② いじめ問題や情報モラル問題が発生しない。特にSNS等使った画像（製造・所持・ばらまき）や誹謗中傷を0にする。 ③ 問題行動の件数が前年度より減少する。同じ生徒が繰り返し問題行動を起こさない。
3 進路指導の重点 (1) 情報提供・ガイダンス機能の充実 (2) キャリア教育の推進 (3) 地域を活性化する人材育成	① キャリアガイダンスや上級学校による学部・学科説明会、地元企業を中心とする職場体験学習、企業見学会、パネルディスカッションを実施します。 ② キャリア・パスポートを活用し、学校生活を通して、進路および卒業後のキャリアに必要な能力を養成します。 ③ 保護者対象進学・就職説明会や、地元企業ガイダンス、保護者による模擬面接を実施します。	① 学校アンケートの学校運営協議委員、保護者、生徒による進路関係項目の評価が向上する。 ② 生徒が学校生活で目標を定め、行動を起こし、それを振り返ることで、自らの成長を実感することができる。 ③ 行事に招く外部講師や保護者による本校に対する評価が向上する。就職地元定着率が向上する。
4 特別活動の重点 (1) 生徒会活動の活性化 (2) ボランティア活動を通して地域へ貢献 (3) 部活動、学校行事に真剣に取り組む姿勢	① 三大学校行事（対面式、球技大会、文化祭）への取り組みを通して、生徒が自発的、自治的に考えて行動できるように支援します。地域との連携を意識して活動します。 ② 部活動への自主的な取り組みを通して、生徒が自ら成長できる機会と実感が得られるよう支援します。地域との関わりを意識して活動します。 ③ 生徒会執行部を中心としたMSリーダーズ活動、ボランティア活動への自発的な参加を促し、地域社会の一員としての自覚を深め、地域社会と積極的に関わろうとする姿勢、地域に貢献する心を育てます。	① 行事の取り組みが生徒主体となっている。生徒自ら考える姿勢、現状に満足せず改善しようとする姿勢が見られる。地域連携を深めていく意識が見られる。 ② 部活動への取り組みが生徒主体になっている。部活動を通して人間性を高め成長しようとする意識・姿勢が生徒に見られる。地域と連携した活動が見られる。 ③ 地域社会の一員としての自覚が生徒に見られる。地域社会と積極的に関わり貢献する意識をもち、実際の行動に移せている。
5 保健安全の重点 (1) 心身の健康についての知識と実践する力の養成 (2) 「生命を守る」訓練、「助け合う」行動に繋がる教育の推進 (3) 安全面等での地域と連携	① 自らの身体と精神の健康を考え、生活を見直す保健安全教育、感染症予防のための保健指導に取り組みます。 ② 多様な災害に対し、自らの生命を守り、適切な判断・行動のできる生徒の教育に取り組みます。 ③ 環境美化に関わり貢献できる生徒の行動習慣を身につけ、地域の避難拠点としての学校づくりに取り組みます。	① 心身の健康に関わる諸調査を実施して、統計的な数値にて判断する。 ② 学校の体制づくり、訓練または教科における指導などを総括的に評価する。 ③ 環境美化に対して生徒会活動による積極的な活動をおこない、外部の要望に対応、評価を参考に判断する。